

# 献馬・神輿にとまって桃花祭を楽しもう！

年目	歴史会 子ども 会行事	献馬			参加人数	神輿		動画・写真・似顔絵集					トピック
		本町2	本町3	大志歴史会		石山町	天気	似顔絵	新中1生連区1周	写真NET UP	卒業記念アルバム	似顔絵たより	
平成25年	—			—	100		晴						①
平成26年 2014年	1 第1回				300		晴		—		—	—	②
平成27年	2 第2回				300		雨		—	—	○	◇	③
平成28年 日曜日	3 第3回				530		晴		○	—	○	◇	④
平成29年	4 第4回				460		晴		○	○	○	◇	⑤
平成30年	5 第5回				480		晴		○	○	○	◇	⑥
平成31年	6 第6回				430		晴		○	○	○	◇	⑦
令和2～4年	7～9				(400)		曇		—	—	—		⑧
令和5年	10 第7回	—			150		晴		○	○	○	◎(合本)	⑨
令和6年	11 第8回	—			300?								

- ①本町3商店街子ども会に応援要請 →歴史会作る
- ②参加者増で馬1頭急遽追加。子ども全員の似顔絵で馬飾りを作る方法開始 →写真、ビデオ撮影 夏に宝物館見学
- ③雨で本町アーケード内行進(献馬は出す) 新中1生大志連区練り歩き計画→雨で中止 スナップ写真をネットにUP開始
- ④日曜日で馬を3頭に増加、新中1生大志連区練り歩き、市民活動支援制度(158番)に初参加
- ⑤軒花を取入れ町内会に配布→献花
- ⑥石山町の神輿参加
- ⑦和太鼓導入で祭り気分盛り上がる
- ⑧新型コロナウイルス対策で桃花祭神幸行列中止発表(真清田神社)  
→似顔絵を書き続け「たより」として発行しコロナ明けに備えた。→プリントバックで綺麗に安く作る方法習得  
R2年度で投票による市民活動支援制度終了
- ⑨緩いコロナ規制のなか献馬・神輿参加復活  
桃花祭運営本部役員の法被新調 似顔絵集のたよりと卒業記念アルバムを合本

## あゆみ

- 馬は、真清田神社にお願いすると神馬と一緒に岡崎、西尾、高浜等の三河地方から来ます。葉栗、国府宮、江南の神社にも同じ馬が出ます。
- 馬は三河(岡崎、高浜等)から神輿は石山町から来ます
- H26年初回、本町3から馬にとまる子が少ないので応援してと大志子ども会に要望→歴史会を作り大志子ども会と共催で連区全体の取組みとする。
- 子どもの参加が5倍に増えたので急遽1頭を追加。馬飾りは子ども会らしく参加の子ども似顔絵で飾る。
- 平成27年から町内会から支援を頂く
- 平成28年日曜日なので馬3頭にして迎える
- 平成28年午前、新中1生の祝馬として連区全町内を回り始める。
- 平成28年から市民活動支援制度により、参加者、連区民の投票により、行事資金を集め始める
- 平成29年?から軒花を導入し交流促進
- 平成31年から大志小の和太鼓を行列に導入
- フェイスペイント導入
- カメラマンを雇い、新中1アルバム、参加者写真をネットに上げる
- 故伊藤誠一氏刺繍の馬飾り布寄付
- 神輿参加
- 夏の歴史文化教室で「桃花祭」を学ぶHOHOHO
- 今年は、献馬が来たよと知らせる おふれの和太鼓 を入れてみました。
- 新中学1年生が全町内を回った折、町内からのもろう「花飾り」を入れ飾る竹筒を太鼓の台車にもうけました。
- 大志連区に戦前19体あった豪華な馬飾りは戦災で焼失。2体のみ残り真清田神社の宝物館に収蔵中。
- 大志連区の新たな取組「献馬・神輿にとまって桃花祭を楽しもう！」には、3～5頭の献馬と1台の神輿が出ます。桃花祭の盛り上げ、新中学1年生のお祝い、伝統文化の継承、連区民のつながりに一役買っています。